

2017年1月16日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 松本 悟

インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ2）
（協力準備調査（有償））
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2016年12月12日（月）13：59～16：09
- ・場所：JICA 本部（1階111会議室）
- ・ワーキンググループ委員：殖田委員、虎岩委員、長谷川委員、松本委員
- ・議題：インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ2）準備調査に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ2）準備調査報告書に係るDFR案事前配布資料（国道54号線バイパス、及び、国道40号線）
 - 2) 環境影響評価報告書（案）（国道54号線バイパス、及び、国道40号線）
 - 3) 住民移転計画（案）（国道54号線バイパス、及び、国道40号線）
 - 4) スコーピング案への助言対応表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第76回委員会）

- ・日時：2017年1月16日（月）14:31～15:37
- ・場所：JICA 本部（1階111・112連結会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

社会配慮

1. 代替案検討時より移転世帯数が縮小した経緯とその理由について、FR の環境社会配慮調査結果の中で分かりやすく記述すること。
2. 補償対象住民を悪質なブローカー被害から守るための対策を検討し、その結果を FR に記載すること。
3. 損失補償策については、移転に伴う生産活動の一時中断や補償の支払い遅れ等に伴う借金をカバーする仕組みを盛り込むよう先方政府に働きかけること。
4. 農民への職業訓練等、生計手段の大幅な変更を伴うような場合の生活再建策については、その対策の期間をかなり長く設定し、「自立促進」の大義名分のもとに短期間に留めることがないように先方政府に働きかけること。
5. 苦情処理メカニズムに申し立てられた苦情の概要を、JICA として事業開始後のモニタリングを通じて把握すること。
6. 工事に伴い発生する雇用機会については、現地のジェンダー構造を踏まえて優先的に女性を雇用する等の配慮を通じ、雇用におけるジェンダー格差の是正を図るよう先方政府に働きかけること。
7. 氏族間の境界線をめぐる係争は関係氏族が納得いく解決方法を模索するよう先方政府に働きかけること。
8. 共有地の利用状況を現地踏査で把握し、影響の回避・最小化・軽減策を FR に記載すること。

その他

9. FR でのプロジェクト評価の記載にあたっては、環境社会影響の評価結果及び経済評価結果も踏まえ、本事業の総合的な妥当性に言及すること。

以上